

スーパーブランド、日本で初めて認定授与

日本を代表する三〇社が対象に

英国・ロンドンに本部を置くスーパーブランドは、一九九四年の発足以来、これまで九二の国々でブランドの認定事業を行ってきた。その影響力は大きく、認定された企業はカンパニイイメージを大きく上昇させると言われている。そしてこの度、九三か国目としてついに日本で初めて、スーパーブランドの認定がなされ、三月七日に東京・日比谷の日本プレスセンターにて認定授与式・カタログ発刊記念式典が行われた。

スーパーブランドは、「消費者が普

段意識せずとも、最も欲しいと思われる力があるブランド」と定義されている。毎年、国内トップ企業の幹部で構成された委員会によって当該国内はもちろん国際的にも高い知名度を有した

ブランドがリストアップされ、それに基づきトップ企業の幹部役員約三〇〇〇人がオンライン等で投票（一〇段階の点数方式）し、各年度のスーパーブランドを決定する。

その結果、計三〇社が日本で初めてスーパーブランドとして認定された。その内容は、メーカー、金融、流通からファッション、旅行、エンターテイメントまで多岐にわたり、対象企業の希望に従って構成されたスーパーブランド・カタログに掲載され、また「Pan's Choice」というスーパーブランド認定マークを活用できる。

そしてスーパーブランドジャパンの委員長を、日本ビジネスインテリジェンス協会理事長の中川十郎氏が務めている。式典の開会にあたり冒頭あいさつに立った中川氏は、「スーパーブランド認定マークを活用することにより、自社の商品やサービスの価値をアピールすることができると販売戦略上有利となり、マーケティングツールとして国内外で力を発揮します」と認定の意義を語り、また「安倍政権はクルービジネスの輸出を積極化させつつあります。ここでもブランドは重要な役割を果たします。このような状況下、

日本でスーパーブランド認定事業が開始されたのは極めて時宜にかなっており、本事業がさらに発展していくようご協力をお願いします」と呼びかけた。続いて、来日したスーパーブランド本部のマイク・イングリッシュ代表による開催の辞、そしてスーパーブランドジャパンのシエルマン・アレキサンダー代表が、認定を受けた各社に対し一社ずつ壇上で表彰を行い、最後に出席した認定各企業の代表者が集って記念写真を撮るなど、華やかな雰囲気の中かで進展した。今回の認定企業を掲載した日本版スーパーブランド・カタログも展示され、来場者は興味深げにページをめくっていた。



スーパーブランドのカタログを見る来場者

冒頭のあいさつを述べる
中川十郎委員長